

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回 所沢市上下水道事業運営審議会
開 催 日 時	令和2年7月22日(水) 10時から12時まで
開 催 場 所	上下水道局庁舎 3階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、柿木 薫、金子 修三、北野 大、工藤 佳代子、 小橋 さとみ、齋藤 賢吾、高橋 巳喜次、平本 登(50音順)
欠 席 者 の 氏 名	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について (2) 所沢市水道事業経営計画の策定について (3) その他
会 議 資 料	・ 令和2年度 第2回所沢市上下水道事業運営審議会 次第 ・ 資料2-1 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について ・ 資料2-2 所沢市水道事業経営計画(素々案) ・ 資料2-3 令和2年度第2回上下水道事業運営審議会 各委員意見一覧(2回目) ・ 資料2-4 令和2年度上下水道事業運営審議会開催スケジュール(案)

担 当 部 課 名	所沢市 上下水道事業管理者	平田 仁
	上下水道局	局長 北田 裕司
	上下水道局	次長 肥沼 宏至
	上下水道局	総務担当参事 磯 稔
	経営課	課長 小池 純一
	窓口サービス課	課長 細田 和彦
	給水管理課	課長 根岸 清
	下水道整備課	課長 岩崎 幸司
	下水道維持課	課長 吉田 進一
		(事務局)
	経営課	経営戦略担当主幹 田島 幸雄
	〃	主査 東 和秀
	〃	主任 西久保 彩香
	〃	主事 河野 太郎
	上下水道局経営課 電話04 (2921) 1087	

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
北野会長	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平田上下水道事業管理者挨拶</li> <li>・ 北野会長挨拶</li> <li>・ 平田上下水道事業管理者退席</li> <li>・ 資料の確認</li> <li>・ 会議の成立の報告</li> </ul> <p>2. 北野会長の議事により進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傍聴希望者の確認（1名）</li> <li>・ 傍聴人の入室、注意事項の説明</li> </ul> <p>3. 議事</p> <p>(1) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について</p> <p>議題「(1) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>（資料2-1に基づき、水道事業の進捗状況について説明）</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>
	<p>～ 特になし～</p>
北野会長	<p>それでは引き続き、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>（資料2-1に基づき、下水道事業の進捗状況について説明）</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>

金子委員	<p>イルミネーションマンホール蓋広告について、今回は株式会社KADOKAWA（以下「角川」とする。）を対象に実施するという事なので、事業費の回収があると思いますが、事業の開始に当たっては、市場調査、マーケティング的に実益があるかどうか、ある程度の需要を見込んでいるものと思います。本事業が、これからの展開で需要と勝算について、どのように考えているのか伺います。</p>
経営課長	<p>特に市場調査等は実施していませんが、既存のマンホール広告事業の課題として、夜間に目立たなくなってしまうとお声をいただいています。そのような中で、イルミネーションマンホールを用いることで課題を解決できるのではないかと考えています。</p> <p>また、本事業はところざわサクラタウンの開業に合わせ、東所沢駅からの道しるべとなることを目的として開発してきたという経緯があります。</p> <p>今後の需要がどれだけあるのか、という点にお答えすることは難しいですが、現在上下水道局庁舎前に設置しているプロトタイプについて、事業者の方から問合せをいただくこともあるため、角川の後には他事業者からオーダーがあれば受けていくという形で進めていきたいと考えています。</p>
金子委員	<p>開発費用が7,000万円近くかかっていますので、そのあたりが若干気にかかりますがいかがでしょうか。</p>
経営課長	<p>今回の開発費用については、角川との広告契約によりいただく広告料により、10年程度で賄うことができるよう設計しています。</p>
高橋委員	<p>イルミネーションマンホール蓋広告事業の経費、7,000万は設置費用ではなくて、製作費なのですか。</p>
経営課長	<p>おおよそ半分が、イルミネーションマンホール蓋28基の購入費と、残り半分がソーラーパネルの設置工事にかかる費用となっています。</p>
北野会長	<p>強度等は考慮されていることと思いますが、どのように光るのでしょうか。</p>

経営課長	<p>テレビの液晶画面等に用いられるバックライト方式を利用しています。本マンホール蓋は、マンホール蓋製造において日本一のシェアを持つメーカーに製作を依頼し、上下水道局庁舎前に設置したプロトタイプもすでに1年を経過しています。台風等でも問題なく使用できていることから、強度等には問題はないものと考えています。</p>
北野会長	<p>各事業の評価については、事務局から評価表を送付し、各委員に事業ごとに点数をつけて評価していただきたいと思います。各委員の評価を基に、次回の審議会にて最終的な評価を行うという様にしたと考えておりますが、委員の皆さまよろしいでしょうか。</p> <p>～ 全員了承 ～</p> <p>(2) 所沢市水道事業経営計画の策定について</p>
北野会長	<p>議題「(2) 所沢市水道事業経営計画の策定について」事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>(資料 2-2 に基づき説明)</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>
北野会長	<p>21 頁の基本目標について「安心・安全」になっていますが、いつも「安全・安心」となっており逆ではないでしょうか。</p>
経営課長	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>
北野会長	<p>経営収支の判断は非常に難しいと思いますが、本計画に記載されている職員給与費の上昇や人数の減少について、収入支出に示された金額に対する数値の根拠や考え方等を示してください。</p> <p>収支計画を見ると令和 8 年には赤字になっているため、単純に考えれば水道料金を値上げするという事になりますが、その前に収入・支出の根拠が適切か確認する必要があります。</p>

<p>経営課長</p>	<p>47 頁の水需要予測では、令和元年度の 1 人当たりの配水量は 282ℓ であり、10 年後には 273ℓ となっています。計算上はそうなるかもしれませんが、核家族化が進行すると 1 人当たりの水需要は、むしろ増えるはずです。本当に 1 人当たりの水需要が減少するという事でよいのかどうか、節水型機器の普及などの減少要因と、核家族化の進展といった要因をどのようにとらえるか議論が必要ではないでしょうか。</p> <p>会長のご指摘のとおりですが、一方で実際に多くの水量を使用するのは大口の事業者になります。事業者では実際にかんりの節水が進んでいる状況があり、また事業者によっては、井戸を削井し自己水源を保有するような場合もあります。</p> <p>そのような状況から総配水量が減少すると見込んでいるため、結果として、平均すると算出される 1 人当たりの水量が減少するという事になっています。</p>
<p>北野会長</p>	<p>家庭と事業者の割合はどのくらいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>給水件数約 17 万件のうち約 6,400 件が事業者になります。</p>
<p>北野会長</p>	<p>水量の割合を知りたいのですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>配水量の分析を行っている資料がありますので、次回お示ししながらご説明させていただければと思います。</p>
<p>北野会長</p>	<p>1 人当たり平均配水量と記載されていると、どうしても生活者の配水量と捉えてしまいます。事業者の影響があるのであれば、一般家庭と事業者の割合がどの程度なのか、また、水量に関わる要素は数多くあると思いますが、増加要因と減少要因をどのように検討したのか、収支を出す際の前提になるかと思いますが、どのような検討過程を踏まえて算出されたものか、根拠を示してください。料金の値上げは慎重な議論が必要ですし、事業経営としては採算をとらなければいけないのは理解できますが、簡単に値上げしてくださいとも言えません。委員の皆さんが納得できるような考え方を示していただければと思います。</p>

高橋委員	<p>経営計画の中にアセットマネジメントや、配水池の規模適正化計画を策定したとありますが、そういったことを踏まえたうえで収支計画を策定しているということでしょうか。</p>
事務局	<p>委員ご認識のとおり、アセットマネジメント手法を用いて管路の更新は投資に係る財政の平準を図り、また人口減少等に伴い配水量の減少見込みから、配水池はダウンサイジングを図り、適正な容量に減少させるなど調整した上で収支計画を策定しています。</p> <p>(3) その他</p> <p>議題「(3) その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
上下水道局長	<p>新型コロナウイルス感染症に対する上下水道局の対策について報告します。</p> <p>水道料金の免除について、5月17日に開催された所沢市議会第2回臨時会におきまして、市コロナウイルス感染症対策の一つとして、公共施設を除く約16万件の水道利用者の方を対象といたしまして、2か月分の水道料金の免除(6・7月検針分)を実施する議案を提出して議決されました。水道水をご利用される市民や市内事業者の経済状況などの深刻な影響に鑑み、実施させていただいた対策でございます。この対策による2か月分の給水収益が、約9億円の減額となりますが、令和元年度に計上される利益等の財源を充て、赤字を繰り越さないこととしています。</p> <p>もう一つの対策といたしまして、消毒液が不足し購入が困難な状況から、上下水道局では次亜塩素酸ナトリウム水溶液を製造し、市内福祉施設や市民向け(各まちづくりセンター)等に無料配布させていただきました。</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p> <p>～ 特になし ～</p>
北野会長	<p>それでは資料2-3について、事務局から説明をお願いします。</p>

経営課長	<p>(資料 2-3 に基づき、令和 2 年度第 2 回上下水道事業運営審議会各委員意見一覧(2 回目)について説明)</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p>
高橋委員	<p>ビジョンの期間について 50 年というのは非常に珍しいです。調べていただいた所も再確認したら 10 年であったり、20 年から 30 年だったりなどでした。国からビジョン策定指針が発出されてから 50 年という期間で策定しているのは兵庫県内の事業体 1 例のみです。ビジョンの策定の手引きでは策定期間は 10 年で良いとされているにも関わらず、なぜ期間を 50 年とするのでしょうか。</p> <p>また、今回提示されている経営計画については、10 年間としており、内容としてもビジョンと重なる部分が多く見受けられます。それぞれ所管する国の省が異なりますが、必要な内容が記載されていれば経営戦略として扱ってよいとされています。なぜ、所沢市は 50 年のビジョンと 10 年の経営計画と 2 つ作成するのか、再度説明をお願いします。</p>
北野会長	<p>計画期間については、初めに策定についての審議を行った際、複数の委員から、「50 年は長すぎるのではないか」との意見があり、審議会の審議により、ビジョンの 3 頁、「1-2 計画期間」の部分に、必要に応じて見直す旨を記載することとしました。</p>
経営課長	<p>水道施設については、10 年や 20 年のスパンで考えるものではないと考えています。水道管路の耐用年数は 40 年間ありますし、それなりの期間を見なければ平準化もできないと考えています。そのため、可能な限り長期の計画とすることで、実効性を担保していきたいと考えています。当然社会情勢の変化などが生じるとは思いますので、適宜見直しは必要と考えています。</p>
高橋委員	<p>国も 50 年、100 年先の将来を見据えた上で、当面の目標を 10 年後に定め、それを水道ビジョンとしてまとめなさいと手引きに記載しています。耐用年数等が 10 年以上であることは承知していますし、それを全く考慮しないと言っているのではなく、社会情勢の変化等も考えられるため、直近の 10 年分を策定し、10 年後に再度し</p>



	<p>っかりと作り直す方が良いのではないかと考えています。また、10年にすれば経営計画の期間とも一致するため、合わせて策定するのが良いのではないかと考えています。それにより複数の計画を見ずとも、1つの計画を見れば水道事業の全貌を理解でき、わかりやすいものになると考えています。</p> <p>本会議内で、計画期間についてご承認されるのであればそれで良いと思います。</p>
北野会長	<p>私としては、ビジョンの3頁、「1-2 計画期間」に計画の見直しに関する文言もありますのでこのままで構わないと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。</p>
金子副会長	<p>水道管の耐用年数等のこともありますし、10年間の経営計画も策定するのであれば、ビジョンの計画期間については50年でも良いのではないのでしょうか。</p>
北野会長	<p>それでは委員の皆さまよろしいでしょうか。</p> <p>～ 全員了承 ～</p>
北野会長	<p>それでは資料2-4について、事務局から説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>(資料2-4に基づき、令和2年度上下水道事業運営審議会開催スケジュール(案)について説明)</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたら挙手をお願いします。</p> <p>～ 特になし ～</p>
北野会長	<p>以上で本日の議事は全て終了しましたが、委員の皆さまから他に何かありますか。</p>
柿木委員	<p>前回、コロナの影響により書面会議として開催しましたが、自宅でじっくり読むことで多くの意見が出て、大変良かったのではないかと思います。</p>

北野会長	以上で本日の議事は全て終了します。
金子副会長	4. 閉会  前回の書面会議により熱心な審議が諮られ、委員の皆さまには感謝しております。現在、新型コロナウイルス感染症は都内では増加傾向でございますので、自分のため、家族のため、社会のため感染しないようにご留意いただきますようお願いいたします。  以上をもちまして、第2回所沢市上下水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。